

麻生区区民会議 第12回若い世代が住みやすいまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成27年11月27日（金）午後3時00分～午後5時00分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 石井委員、金光委員、白井委員、山田委員、吉垣委員
（欠席）上野委員、菅野委員、梶委員、志村委員、高橋委員
[事務局] 企画課 井上課長、白石担当係長、佐藤 [コンサルタント] 佐藤
- 4 傍聴者 1名
- 5 議事

(1) 調査審議課題の検討について

白井部会長から全体の振り返りについて説明。

①麻生区の魅力のブランド化とPR

◎PRすべき麻生区の魅力とは

【主な意見】

- ・麻生区の魅力とは、緑が多い、治安が良い、芸術のまちであり、総じて子育てしやすいことがわかる。
- ・芸術は人気が高いのかもしれないが、年齢によって違うのではないか。
- ・芸術のまちについて年齢が若いほど魅力を感じていないと子育てフェスタのアンケート結果にあるが、子育てフェスタではコンサートが非常に人気で、さらに普段からこども支援室が行っているコンサートでも、いつも満席になっている。魅力を感じていないという断定はできないと思う。但し、フェスタのアンケートで芸術・文化の数値が低いのは、回答者の思う芸術・文化の意識とコンサートが一致していないのではないか。
- ・若い世代も、音楽には興味が高いのかもしれないが、芸術という言葉を高尙に捉えているので、数値が低いのではないか。
- ・麻生区についても、売り（目玉）がなければPRできないが、アンケートの結果から、子育てがしにくいとは出てきていないので、その辺りをPRしていけばいいのではないか。
- ・統計白書にあるアートを活かしたまちづくりの推進の認知度に、麻生区は35.6%とあり他の区より高いが、芸術のまちづくりを始めて何年になるのか。それでこの数字が多いのかどうか。また、この回答については、どのようなアンケートの仕方をしたのか。市が行った調査であれば、データの根拠についてはかなり正確なのではないか。
- ・中学校区を中心とした、わ・わ・わクラブ等が増えれば、若者から高齢者までがスポーツに関われるのではないか。
- ・アルテリッカやアートセンターがあるが、市（文化室）の事業や施設のため、麻生区のHPの中では含まれていないので、芸術のまち麻生のというPRが足りていない。
- ・麻生区の魅力とは何か、という形で、市民に投げかけて募集しても面白いのではないか。
- ・子育ての中で、麻生区は自主保育が多い。そこを魅力としてPRすればよいのではないか。
- ・保育士の質が下がってきてしまっている現状がある。
- ・会社関係の保育園について、公立の保育園の人が教えに来ている。何か問題があっても、普通の保育園では園長に聞けばよいが、会社経営だと、社長に聞かなければと、時間がかかるケースがある。
- ・田舎という点については、夜に星が見えたり、鳥の声が聞こえたりといった要素がある。

- ・都会という点については、芸術のまち（文化施設が充実している）や都心から〇分といった要素がある。
- ・新百合ヶ丘駅南口のペデストリアンデッキにリリエンヌ通りやユリテラスという名称を、全国に募集して公募つけたが、看板やプレートなどが無いことから、あまり知られていない。
- ・雨が振ってきたため、新百合ヶ丘駅南口広場の下でイベントを行ったが、そこで鳩の糞が酷く、掃除をすることになった。また、新宿あたりでは、ガラス張りにしたカフェなどがあり、新百合ヶ丘でもできるとよい。

◎ブランド化に向けたキャッチフレーズについて

【主な意見】

- ・魅力の特定がされてきたが、区民会議の委員で麻生区のキャッチフレーズを決めてしまっているのか。区民の声を反映させてキャッチフレーズを決めていくのが良いのではないかと。
- ・部会でどこまで方向性を示していくのか検討する必要がある。
- ・麻生区のホームページにキャッチフレーズが載っているが、スポーツのまちはどうなのか。魅力を絞らないといけない。
- ・便利さ、行楽地にも行きやすい、音楽のホールがあるなど、その辺りもPRしていけるとよいのではないかと。

【決定事項】

- ・これまでの議論をまとめ、麻生区の魅力を含んだ例、方向性を示し、市民の声を反映させていくという方向で提言に結びつける。

◎PRの方法について

【主な意見】

- ・現在の区役所のホームページでは、情報が発信されているのみで、それに対して意見を言える環境にない。なので、ブログなどを活用して意見を書き込めるようにした仕組みが必要ではないかと。
- ・SNSやブログを活用してPRするとなった場合、誰が運営をするのか検討が必要である。
- ・麻生区のHPについて、固い感じがする。
- ・麻生区の魅力を伝えてくれれば、発信をしてもよい、というネット上の集団がいる。
- ・住もうと考えた時に、まず麻生区のホームページを見る事が多いので、そこにPRしたい項目がばっと見て分かるようにするとよいのではないかと。
- ・麻生区のホームページの魅力・みどころを見ても、麻生区の観光ガイドともう一つしかない。

②空き家の利活用について

【主な意見】

- ・学校側が直接契約をしてくれれば良いが、町会の人にも、一軒家をシェアハウスとして使うということを説明することで、町会活動にも参加をしてもらえるように促せるのでは。
- ・NPO法人リブ&リブが、世代間交流ホームシェア事業を行っている。
- ・大学としても、マッチング等、全ての事務を処理するには人員が足りていないため、こういったNPOなどを活用していく必要がある。
- ・区民会議がこういった形で関われるか。また、行政や区民がどのように関われるのか検討する必要がある。
- ・空き家を活用した高齢者のグループホームについて、無認可でやっているところがあるらしく、大家と直接契約を行っており、介護の問題等で周辺地域から苦情があり、大家から出て欲しいという

話がある。最近引越しを行ったらしいが、小火騒ぎ等があるらしく、地域の理解も必要。

③フォーラムについて

【主な意見】

- ・いつ、どのような形で開催するのは次回の部会で検討する。

④その他

第14回若い世代部会の開催日程について、1月22日（金）から1月20日（水）の午後3時からに変更。

（2）次回について

- ・提言の内容についてたたき台を作成し、検討する。
- ・フォーラムの内容について、検討する。

以 上